

教科の目標にもあるとおり、国語科は言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指しています。単元構成の際には、単元を通して行う言語活動を適切に位置付ける必要があります。

第6学年「インターネットの投稿を読みくらべよう」では、インターネットの投稿を読み比べて説得の工夫を捉えた上で、実際に投稿文を書くという言語活動が多く取り入れられています。

### 【学習活動の例】

- 1 説得の工夫を読み取るという学習課題を明確にして、見通しを立てる。
- 2 投稿1～11を読み比べ、説得の工夫や表現の効果について考える。
- 3 自分の意見や主張をもとに投稿文を書く。**
- 4 身に付けた「言葉の力」を確かめ、普段の日常生活の中に生かそうという意識を高める。



どんな投稿文が書ければ単元で扱う指導事項が身に付いたといえるのでしょうか。



まずは指導事項をもとに、**どんな条件で投稿文を書くのか**という単元のゴールを明確化し、それを踏まえて具体的な評価基準を設定しましょう。

## 「投稿文」を書く際の条件（例）

### ①3段落構成とする（1つの段落につき3文以内）

- 1段落・・・自分の立場を決めて主張する
- 2段落・・・理由・根拠
- 3段落・・・まとめ（議論を整理する）→自分の主張を再度念押し

【関連する指導事項】

#### C読むこと(1)ア

※本単元では既習の指導事項として扱う。

### ②「自分の主張に説得力をもたせる理由や根拠の挙げ方」を工夫する

- ・自分自身の経験を取り挙げる
- ・各種調査等の具体的な数値を取り挙げる
- ・有名人や専門家の言葉を引用する
- ・ことわざや格言を取り入れる



3つの条件の中で最も重視!!

【関連する指導事項】

#### C読むこと(1)ウ◎重点指導事項

※単元において特に重点的に指導し、評価する。

### ③他者の意見に共感する表現を必ず使い、常体と敬体を書き分ける

- ・「確かに・・・だ（一度受け止める）。しかし・・・という考えもある。」
- ・「〇〇さんのコメントにうなずける点もあるが、実際には・・・と思われる。」
- ・「どちらの考えにも賛同できます。一方で、・・・という捉え方もできます。」

【関連する指導事項】

#### B書くこと(1)ウ

※C読むこと(1)ウで身に付けた資質・能力を生かして実際に書いてみる活動の際に指導し、評価する。

## 「おおむね満足できる」状態（B）とする児童の具体的な姿（例）

確かにスポーツにおいて勝つことは価値のあることです。しかし私は、限界を超えてまでスポーツをすることには反対です。

私は過度なトレーニングによってけがをしてしまい、大好きなサッカーを続けられなくなりました。勝つことより、長く続けることの方が価値があることだと身をもって学びました。

勝つことにこだわりすぎて、私のようにスポーツを続けることができなくなっている意味がありません。だから私は、限界を超えてまでスポーツをすることには反対です。

自分の経験

↓  
主張

①～③の条件が全て満たされていることに加え、**主張に説得力をもたせる理由の挙げ方ができている**ことから、「おおむね満足できる」状況(B)としています。



単元の終わりに、全ての子供が「おおむね満足できる」状態になることを目指して単元を構想します。そのためには、1単位時間ごとに「何がどこまでできるようになっていけばよいか」という具体的な子供の姿を想定しながら単元計画を作成することが重要です。